

直島町教育委員会

直島町立直島中学校

1 実践のテーマ

「郷土を愛し、地域に貢献できる生徒をめざして」

- ・直島一周ゴミ拾いツアー（生徒会）
- ・オンラインを通じた他校との交流（1・2年総合）
- ・英語を通じた発信「Meet The World」（小中学校・英語・総合）

2 目標

- ・地域の方と共にボランティアをすることで、地域に貢献する気持ちを高める。
- ・直島のことを調べ紹介することで、理解や知識を深め地域に愛着をもつ。
- ・直島のよさを発信することで、コミュニケーション能力を高め自信を高める。

3 内容

直島一周ゴミ拾いツアー

生徒会が主催して平成12年から実施しており、今回で26年目になる。全校生と地域の方々がいくつかのグループに分かれ、島を歩きながらゴミを拾っていく。島が美しくなるとともに、地域の方と話をしながら巡ることで温かい交流が生まれている。



オンラインを通じた他校との交流



令和4年から1・2年生が年2回、高松市立下笠居中学校とオンライン交流を続けている。共に小規模校で限られた人間関係の中で育つ生徒たちにとって、新鮮な出会いの場となっている。紹介やクイズに向けて学校や地域のことを調べ、交流会で発表しあう。今年度は下笠居中学校の2年生の直島訪問が実現し、実際に会って親睦を深めることができた。

英語を通じた発信「Meet The World」

県内のALTを招き、児童・生徒たちが直島の見どころやアートを英語で紹介する行事である。事前に現地で下見をし、英語で紹介できるように準備や練習を行う。外国の方に島の魅力を知り楽しい時間を過ごしてほしい、そしてそれをどうにか伝えたい、その思いが英語とコミュニケーション能力、自分の自信を高めることにつながっている。



4 成果と課題

地域と学校との交流が深く、子どもたちは地域で大切に育てられており、直島は生徒たちの自慢のふるさとである。しかし、中学卒業後は新しい場所で多様な他者と関わりながら多くの課題と向き合っていくことになる。ふるさとで培った誇りと身に付けたコミュニケーション能力を礎として、未来の担い手となるとともに自分の未来を切り拓く人間性を育んでほしいと考えている。

直島町教育委員会	直島町立直島小学校
<p>1 実践のテーマ Meet the World</p> <p>2 目標 香川県内外の ALT に直島の見どころや島内のアートについて、英語を使って紹介する活動を通して、国際感覚を養うとともに、地域に対する理解や知識を深める。</p> <p>2 内容 「Meet the World」は、直島中学校とともに平成10年度よりはじまり、毎年11月下旬から12月上旬に、県内外の ALT 約30名と児童生徒と一緒に活動する行事である。 後半は、校外に出て、島内の古民家を活用した『家プロジェクト』や『ベネッセミュージアム』の屋外にある現代アートについて、小学5・6年生と中学1・2年生が英語での説明をする。</p> <p>3 成果と課題 ○前半（9：50～10：40） 小学校の教室や体育館で、直島町の自然を使ったおもちゃでの交流、直島の特産品をつかって買い物遊びや直島のおすすめの場所について、外国語を使って対面式の交流活動を行った。 1年『Naoshima Fall ToyLand』 活動：「秋の宝物」を使った秋のおもちゃを楽しむ祭りをして、日本の秋を満喫する。 2年『Naoshima ToyLand』 活動：自然の力を生かしたおもちゃを使って、いろいろな遊びを楽しむ。 3年『Food and Sweets Shop Naoshima』 活動：直島特産の「SOLASHIO」を使ったスイーツや直島をモチーフにした料理をつかって、買い物を楽しむ活動。 4年『Welcome to Naoshima～Tour of Naoshima art～』 活動：3ヒントクイズを使って、家プロジェクト・ベネッセアートを紹介する。 ○後半（11：20～12：20） 校外に出て、島内の古民家を活用した『家プロジェクト』や『ベネッセミュージアム』の屋外にある現代アートについて、小学5・6年生と中1・2年生が ALT に対して英語での紹介をした。それぞれの現代アートについて、外国語を使って紹介するとともに、グループで移動中も、これまでに教科「外国語」で経験してきた定型文をもとにした会話文をもとに、ALT との会話を楽しむことができた。</p>	

